

公共施設の最適化を図るFM

公共施設の健全化に活かされるFMのノウハウと技術

公共施設マネジメントに貢献する 公共FM

全国の自治体が保有する学校、市営住宅や道路、橋梁などの公共施設は、公共サービスの提供やまちづくりにおいて重要な役割を担っています。一方で多くの施設では、老朽化の進行と、将来的に予想される維持管理費・更新費の増加への対処が大きな課題となっています。2014年4月に総務省から「公共施設等総合管理計画の策定要請」が出されたことも契機となり、全国の自治体で公共施設のあり方を考え、目指すべき姿の実現に向けた方針や計画づくりが進んでいます。

NTTファシリティーズは、NTTグ

ループの施設を中心とした数多くのFM（ファシリティマネジメント）業務により培ってきたノウハウを駆使して、公共施設・公共インフラの老朽化対策・適正配置・運営改善など、自治体が抱える課題の解決に向け、さまざまなサポートを実施しています。

特に、施設マネジメントに係るサポートでは、現状の公共施設・公共インフラを把握するだけでなく、自治体の目指すべき姿を長期的な視点から勘案し、財政負担の低減、事故回避などの観点も加え、具体的な実施プラン（耐震化、長寿命化など）立案のサポートを行っています。

高品質のサービスを効率よく提供するため、次の3つの視点を持ち、

住民へのサービスを支える施設品質の維持とトータルコストの適正化に取り組んでいます。

視点1：施設量の適正化（公共施設の評価、再配置プランの策定）

視点2：品質の適正化（安全性・快適性・社会性の確保）

視点3：コストの適正化（長寿命化・民間資金の活用など）

市民活動の活性化で 成果を上げている取り組み

「公共サービスの維持」と「財政負担減」の両立という公共施設の抱える課題に対して、当社では運営管理事業においてもFMのノウハウを活用し、課題解決に寄与しています。

その一例として兵庫県姫路市では、地区市民センターや勤労会館など7施設について、当社を代表団体とし、地域のNPO法人を構成団体とする共同事業体が指定管理者となり、地域密着型の施設運営で成果を上げている事例が注目を集めています。

これは、全国規模の企業と地域のNPO法人の協働という全国でも珍しい事例であり、地方創生に貢献する地域活性化のモデルケースとなり得るものです。

